

分野：①自然への愛着、②生態系・生物多様性

## 「上尾市内にフクロウ巣箱の設置」

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象 荒川の自然を守る会 会員（5人）

場所 三つ又沼近隣・大石南小学校

所要時間 8時間（4カ所）

実施時期 令和3年1月15日～

## 概要

事前準備：上尾市内で夜フクロウの鳴き声が聞こえる場所の調査を行い場所選定の実施、地権者に設置了解交渉、4か所の了解を頂く

現地調査：設置樹木の選定、周辺環境（飛行進入方向、周辺の餌場の有無など）

設置場所：三つ又沼周辺3ヶ所・大石南小校庭の桜の木1ヶ所を3日間で行う

## プログラムの

## ねらい

荒川の自然を守る会の皆様が設置樹木の選定で、フクロウになったつもりで樹木を探すことが出来、後継者に伝えて行ければ理想です。

巣箱の穴の向きは南側、飛行ルート考える、近くに餌場があるか、敵はいないか（アライグマ）これらを考慮する、設置後は入口に枝を入れることを忘れない

## プログラムの内容

## 1 巣箱設置場所の調査・選定（30分）

地権者から許可を頂いている範囲で調査します  
フクロウになりきって、進入路・巣穴の向き・  
近くに餌場があるか

## 2 巣箱の設置（60分）

設置しやすい枝があるか、巣穴の向きが南向きか  
止まり木があるかなどを考慮し、梯子を設置し、  
木に登るのは2名で巣箱を吊り上げ、設置固定は  
ベルトで固定する、最後に巣穴口に枝を刺す

## 3 アライグマの昇降対策（30分）

波板スレートを幹に巻き、アライグマが昇降出来  
ないようにする



## 受講者の反応

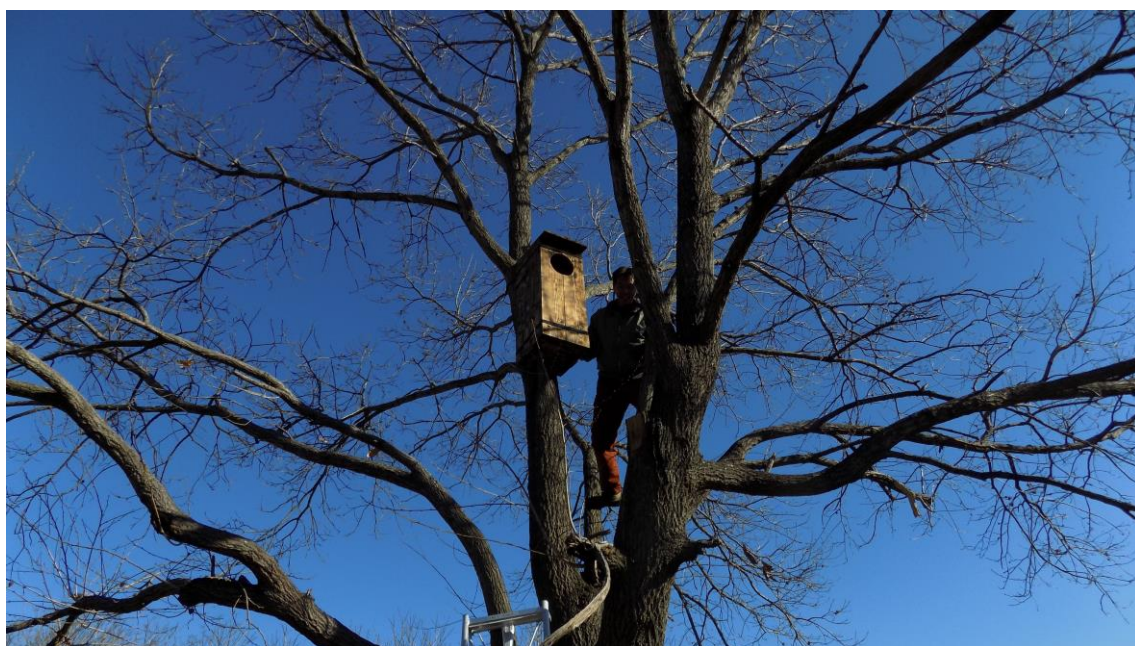
荒川の自然を守る会の皆さんは、自分たちで設置した巣箱にフクロウが気にいってくれたらと思いき、興奮していました。

3日後に確認調査に行ったら、2ヶ所では入った形跡あり、入口の枝が中に、入口にフクロウの羽毛がついていました、後は巣箱をオスが連れてきたメスが、気に入ってくれるのを願うばかりです、白い幼鳥が見られればいいなあ・・・。

## 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



設置後は入口に枝を、無くなればフクロウが来て、入った可能性が、羽毛を確認出来れば最高



アライグマ昇降防止にスノコ等を巻く